

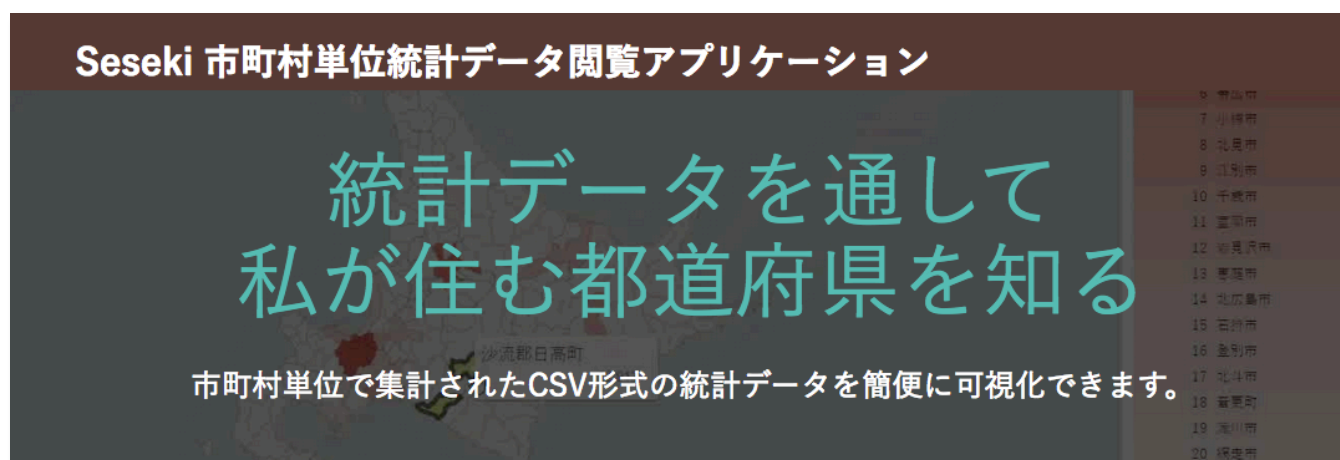
アーバンデータチャレンジ

UDC2013-2019 Project Facebook [<https://www.facebook.com/UDCT2013>]



アーバンデータチャレンジ(UDC)とは？

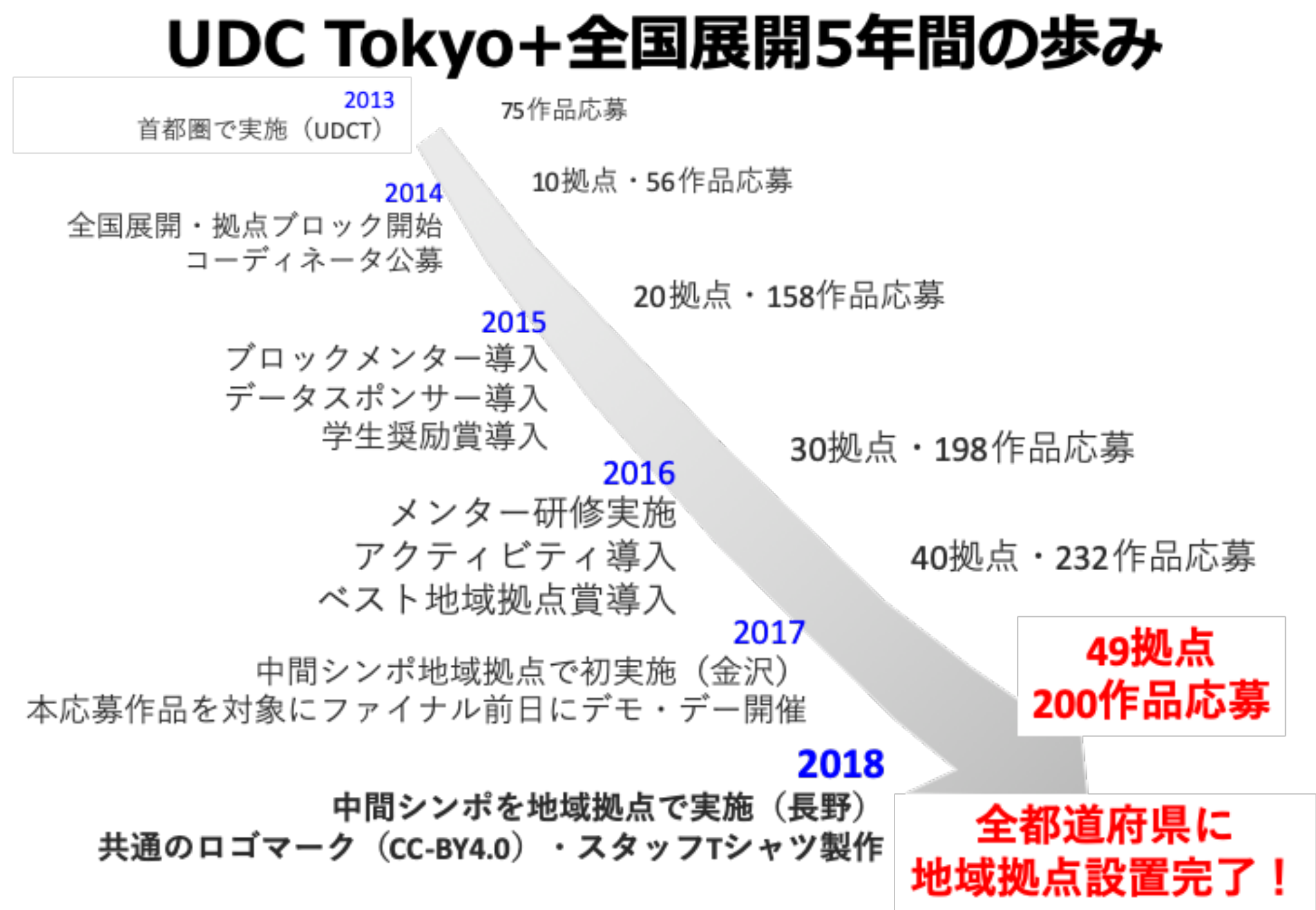
実空間に関わる様々なデータは、これまで国・地方自治体等から公開されてきましたが、近年では世界的なオープンデータの潮流を背景に、日本でも多くの自主的な草の根的活動に加え、自治体としてデータの整備、公開、利活用の方策などが検討されています。一方、これらの取組はまだ一部の先進的な自治体に留まっており、サステナブルな形で多くの自治体が広くデータを流通・公開したり、さらにビジネスレベルで多くの民間企業等が参画するという状況には至っていません。そこで私たちは、自治体を始めとする各機関が保有するデータの公開・流通促進に向けた具体的な取組として、各機関が提供可能なデータ、それらのデータの活用に効果的なツール、有効なデータ利活用方法等を募集する「アーバンデータチャレンジ」を企画し、**通年型のアイデアソン・ハッカソン型のワークショップなどの地域単位でのデータ活用コミュニティの形成とデータ提供を通じたコンテスト（賞金総額200万円を予定）を実施しています。**



UDCの地域拠点

2014年から始まった「地域拠点」は、都道府県単位で毎年10の地域拠点を新しく設立し、各地域を主体に地域課題の発掘やディスカッションを通して応募作品を作り上げる活動を行い、**2018年度までに全国47都道府県に拠点**を立ち上げました！

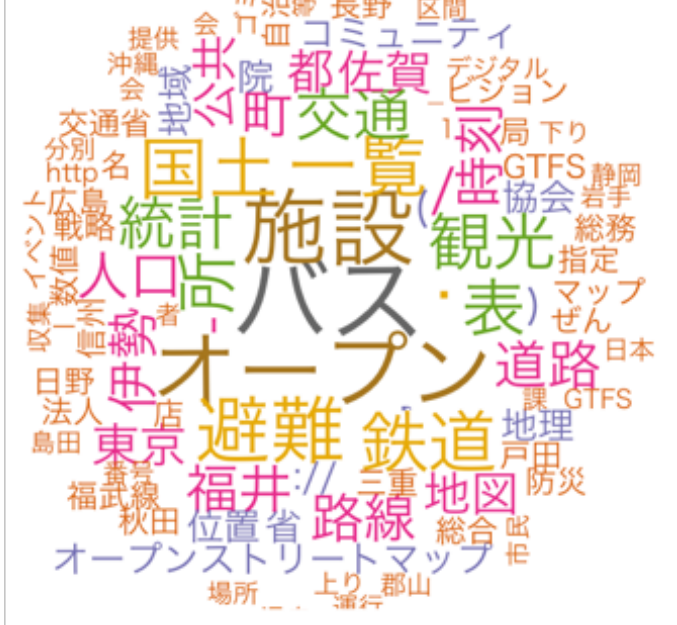
UDC6年間のあゆみ（2018年度の作品応募数200）



200作品の頻出キーワード
(5回以上使用されたもの：名詞の語句を集計)

作品概要

使用したデータセット



課題解決の実践例の共有

ワークショップや作品応募を通して蓄積された地域課題解決に向けたデータ活用のノウハウは、Webサイト上でも共有しています。ぜひ御覧ください。
<http://urbandata-challenge.jp/>

